



最新のニュース

- 日本政府支援により、東北ワークショップを実施しました。

ワークショップ・スケジュール

- 3月13日 宮古市
- 3月14日 大槌町
- 3月15日 遠野市
- 3月16日 気仙沼市
- 3月19日 東松島市
- 3月21日 新地町・南相馬市
- 3月22日 山元町・名取市
- 3月23日 広野町・いわき市



あの時から、時が止まった
ままの旧大槌町役場

東日本大震災被災3県で、国連ハビタットが 東北ワークショップを開催しました。

国連ハビタット福岡本部は、日本政府第3次補正予算により東日本大震災被災3県（岩手県・宮城県・福島県）11市町で東北ワークショップ「コミュニティ主体の復興プロセス」（2012年3月13-23日）を開催しました。

当ワークショップには、自然災害後の復興事業を数多く手がけてきた海外および国内の専門家が出席し、東北の各自治体が発災直後から取り組んできた活動について、また今後の復興方針や地域振興を見据えたビジョン、施策の実現に向けた課題について、広範な意見交換を行いました。特に、参加自治体の職員の皆さんには、発災直後の心境や業務を遂行する上での課題などを率直に語っていただきました。また、自治体のマンパワー不足が復興過程における大きな課題であるなか、ハビタットが推進しているコミュニティ主体の復興プロセス、特に自治体の予算の一部を住民組織に委託して事業を行う「コミュニティ・バジェット」の手手法への関心が高く、具体的な運用方法に関する質問が出る自治体もありました。

各自治体はそれぞれ異なる復興段階にあります。どの自治体も復興への道りは長く険しいものです。1年が経って、震災に関する記憶が被災地でも薄れるのではないかと不安が語られると同時に、自分たちの取組みを復興モデルとして世界の人に知ってほしいと強い意欲を示される自治体もありました。

国連ハビタットは、本ワークショップにおける意見交換を踏まえた復興対策に対する提言をまとめ、復興庁を通じて政府へ提言を行なうとともに、参加自治体の経験と取組みをウェブサイト等を通じて世界発信していく予定です。



宮古市（岩手県）



大槌町（岩手県）



気仙沼市（宮城県）



南相馬市（福島県）



名取市（宮城県）



広野町（福島県）